

# 観光文化論Ⅱ 観光文化論Ⅰ

更新日：2023/02/24 21:02:42

開講年度	2023	学期	前期	シバコード	36159A	科目コード	36159
担当教員	中村 純子						
備考	授業コード3615910001：春学期開講						
配当	配当時期	—	曜日/時限	木,4	単位	2	
	備考	学科科目 学科専門科目（観）／専門プログラム（観）					
教員の実務経験の有無	無	ノートPCの利用		通常講義では利用しないが、調べなどの際に教員の許可で利用する			
実務経験							

## 授業の目的と概要

観光文化を基礎から学び、観光史を把握する。また、有名な地域を事例に歴史や観光の現状、問題を理解する。観光文化の基礎概念を学び、世界・日本の観光史を理解した後、主要な世界の観光目的地を事例に観光文化の特長や変容をみる。ペルーの回では「兼高かおる世界の旅」の映像資料を用いて、昭和の旅番組と当時の貴重な映像を視聴する

## 到達目標

1	・観光文化の理論や概念が把握できる	
	A+	理論や概念をしっかり把握し、説明も明確である
	A	理論や概念を全体としておさえられ、説明も何とかできる
	B	理論や概念を形式的におさえられているが、説明となるとやや欠ける
	C	理論や概念の理解に欠けるため、説明も曖昧で不十分である
2	・観光の歴史がわかるようになる	
	A+	観光史をきちんと理解し、整理できている
	A	観光史を全体として理解しているものの、細かい部分では間違いもある
	B	観光史をおおざっぱに把握しているが、時代や用語が混同する部分も多い
	C	観光史をきちんと把握できず、多くの部分で間違いや混同が生じている
3	・内外の地域例から観光文化の変化や問題がわかるようになる	
	A+	観光文化の変化や問題を的確に把握できている
	A	変化や問題をおおまかにおさえられている
	B	変化や問題をやや把握しきれず、曖昧な部分もある
	C	変化や問題があまり理解できず、不十分な把握にとどまる
F	全く変化や問題を理解できていない	

## 履修上の注意

- ・観光マネジメント学科の専門科目で、中程度のレベル
- ・「観光学」と「観光資源論」を履修済を前提に講義が進められるので、確認すること。なお、教室定員超過の場合は、観光マネジメント学科の学生が優先される
- ・最終回でテストを受けること（必須要件）。講義中の課題もあればこなすこと
- ・ノートと筆記具を必ず持参し、講義ノートをとること
- ・出席3分の2がボーダーライン。欠席・遅刻・早退を極力控える
- ・前半・後半ともに7回中3回以上欠席の受講生はWとなり、グループクラスルームから除外、テスト受験の資格がなくなる
- ・講義中は飲食禁止、私語は慎む。板書等撮影は禁止。講義中別作業も禁止

## 教科書・教材

基本方針	テキストはなく、適宜レジュメや資料が配布される欠席者は次講義にレジュメを受け取る（それ以降は配布されない）			
必須/推奨	書籍名/資料名	出版社	出版年月	備考

## 参考文献

- ・飯田芳也『観光文化学』古今書院
- ・橋本和也『観光人類学の戦略』世界思想社
- ・山下晋司編『観光文化学』新曜社

## ディプロマポリシーに掲げる能力と授業の対応

ディプロマ・ポリシー（大分類）	具体的スキル		対応
D1	知識を取り込む力（知識・理解）	1-1 幅広い教養とモラルを身につけている	△

		1-2	商学の専門的な基礎知識・技能を身につけている	
D2	問題発見・解決力（思考・判断）	2-1	多様な価値を理解することができる	△
		2-2	社会の課題を発見することができる	
		2-3	論理的に思考することができる	△
D3	専門的知識・技能の活用力（思考・判断）	3-1	専門的知識を問題解決に活用できる	
D4	コミュニケーション力（知識・技能）	4-1	自分の考えを他者に伝えることができる	
		4-2	他者の考えを受け入れることができる	
D5	社会貢献力（態度・意欲・関心）	5-1	社会に貢献する意欲を持っている	
D6	コラボレーション力（態度）	6-1	主体的に行動する意欲を持っている	
		6-2	他者と協力する態度を持っている	

### 成績評価方法

課題や発言などの授業態度が50%、テストが50%による総合評価

### 試験・レポート等に対するフィードバック

テスト以外の課題は必要に応じて返却されることもある

### 授業時間外の事前事後学習

	内容	学習時間
事前学習	講義の地域文化について、観光資料などからあらかじめ調べておく	30分
事後学習	講義で学んだことをノートとレジメを参考にまとめ直し、さらに観光資料、文献を加えてノートを作成する	50分

### 授業計画

1	ガイダンス「観光文化概説」 観光文化とは何か、講義の流れと概要、履修上の注意、持参物、単位取得方法などを把握する
2	観光の世界史1 観光の世界史として、古代ギリシャ・ローマから中世までの観光の歴史を学ぶ
3	観光の世界史2 中世から近代までの世界の観光の歴史を把握する
4	観光の日本史1 観光の日本史として、古代から中世の観光の歴史を学習する
5	観光の日本史2 観光の日本史として、中世から近代の観光の歴史を学ぶ
6	イタリアの観光文化 イタリアの諸都市の位置と観光名所、イベントなどを学ぶ。ローマから観光でなじみ深い街の歴史文化と観光について事例をみる
7	ハワイの観光文化1 ハワイの観光名所とイメージ、観光の現状から入り、島々により異なる観光文化や名産物、イベントなどを知る
8	ハワイの観光文化2 ハワイのポリネシア文化に関して、その後の移民と観光開発などについて学び、歴史的な変容と問題をみる
9	フィンランドの観光文化 北欧やフィンランドのイメージ、観光現状をみたらうで、観光文化の特長についてみる
10	「兼高かおる世界の旅」とペルーの観光文化 ペルーの観光文化に関してレクチャーとともに、「兼高かおる世界の旅」の貴重な映像資料（ペルー）を視聴し、ともに考える
11	フランスの観光文化 フランスのイメージとパリの観光をみたらうで、地域による特長についてみる。地域圏による違いが観光の文化資源となることを把握する
12	バリ島の観光文化 バリ島の位置と観光状況、イメージ、観光の現況みたらうで、文化的要素を芸術面の変遷から把握する
13	ゲスト講義（日程変更有） ゲスト講師による観光目的地の観光文化を学ぶ（ゲストの都合で日程変更有）
14	テスト（必須） 全体をふりかえるテストを受ける（受講生必須）

### SDGsとの関連性

